

経済産業省における 衛星データ利用ビジネスの促進に関する 取組について

令和6年3月
経済産業省

衛星データ利用促進のための地域実証事業（2022～2024年度）

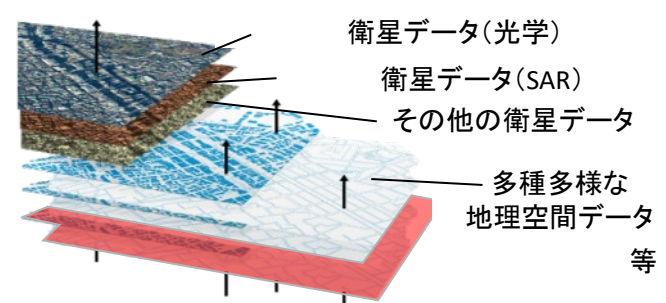
（事業費 2022年度：2.9億円、2023年度：3.9億円、2024年度：3.8億円）

- 左下の実証地域における社会課題解決のための衛星データを利用したソリューション開発の集中的な実証支援を実施中。

実証地域のイメージ

衛星事業者

① 実証地域について衛星観測を重点的に実施

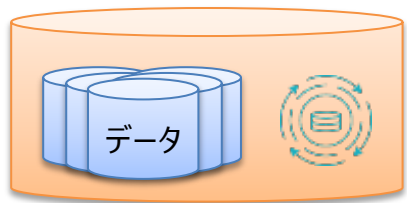


② 当該地域の課題解決に資するサービス開発

- (1) 補助事業
- ・ 公募で選定した13者程度に、の開発費用を補助（上限1000万：2/3補助）。
- (2) 衛星データ無料利用
- ・ 上述(1)には選定されなかった者についても、審査を通過した者に対しては、衛星データやその加工データの無料利用を可能とし、サービスの開発を支援。

衛星データの
搭載・API化

衛星データプラットフォーム



ソリューション開発事業者



地元ユーザ



API提供

サービス実証

将来の商流

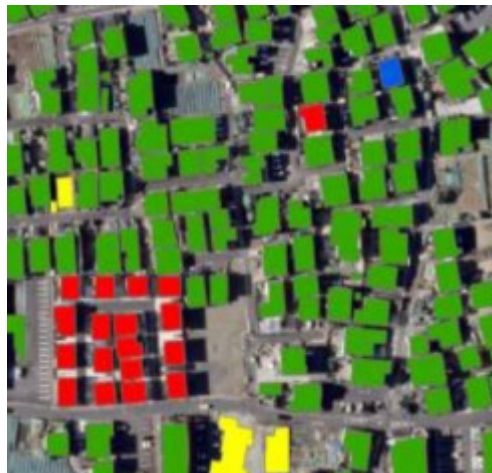
将来の商流

将来の商流

衛星データ利用促進のための地域実証事業 事例紹介

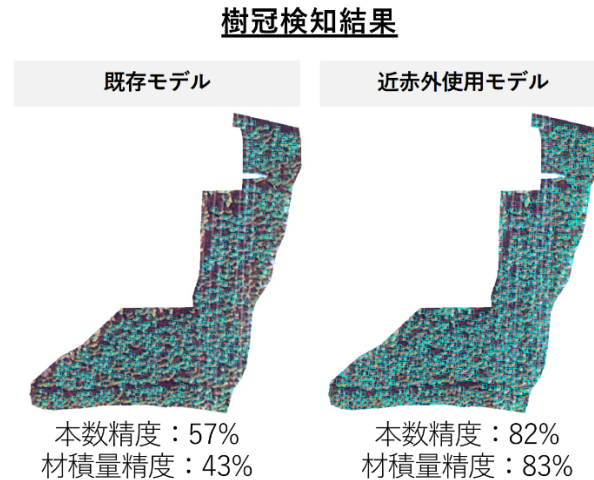
- 2022年度は13件、2023年度は18件の実証事業（補助）を実施。以下は例。
- 昨年度の実証事業の内容は関係省庁にも共有済。今年度分も実施次第、共有。

■ 固定資産管理（福井、山口）



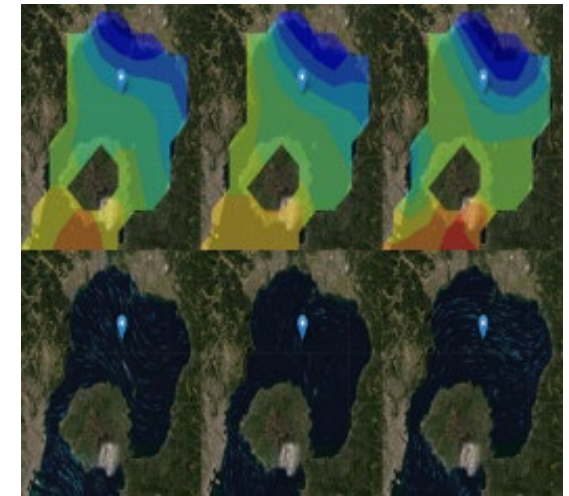
- 衛星画像から、固定資産の変化抽出の再現率90%以上を達成。
- 自治体サービスの効率化に期待。

■ 森林材積量予測（九州）



- 衛星画像から樹木の本数・材積量の再現率80%以上を達成。
- 自治体サービスの効率化に期待。

■ 赤潮予測（鹿児島）



- 衛星データ等から、7日先までの赤潮の動きを予測し正解率90%を達成。
- 漁業者が利用することを期待。

衛星データ利用ビジネスを行うスタートアップへの支援

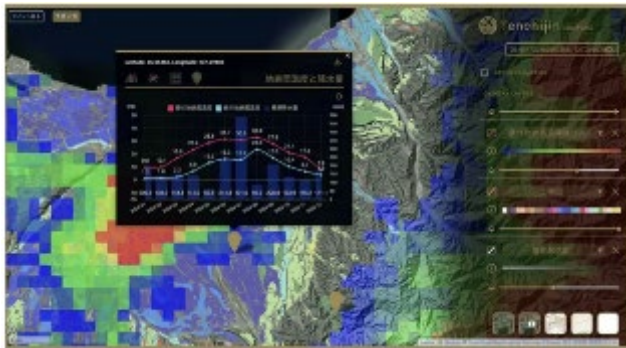
- 衛星データ利用ビジネスを行うスタートアップをSBIR制度で支援中。
- 関係省庁に情報共有し、フィードバックを得ながら事業を実施していく。

株式会社New Space Intelligence SBIRフェーズ1：2千万円



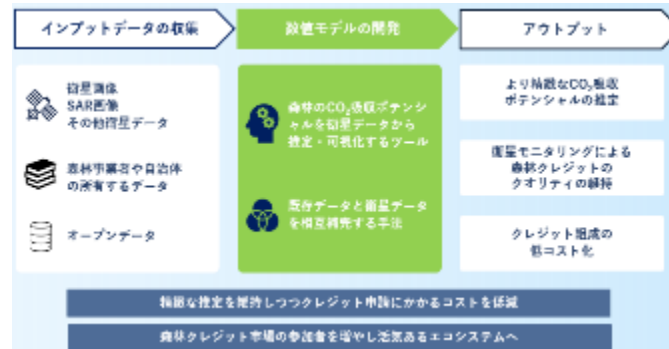
バーチャル衛星コンステレーションによる無人島のスマートモニタリングの開発

株式会社 天地人 SBIRフェーズ3：4.3億円



再生可能エネルギー事業分野における適地評価システムの社会実装

株式会社DATAFLUCT SBIRフェーズ1：2千万円



衛星画像を利用した森林のCO2吸収ポテンシャルの算出ツールの開発

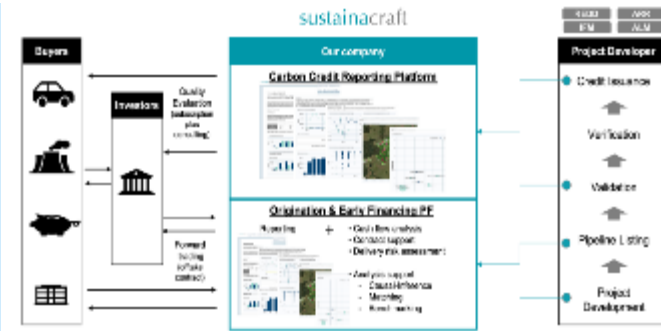
LocationMind株式会社 SBIRフェーズ3：2.8億円



<https://locationmind.com/>

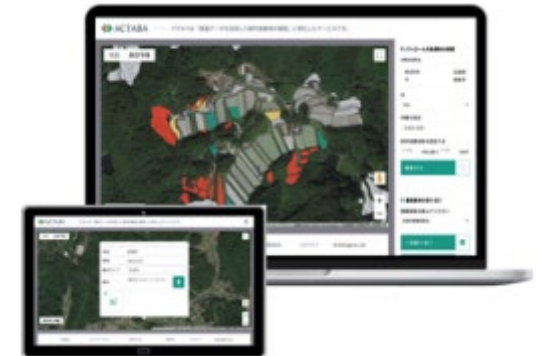
衛星画像×船舶・トラックデータによる港湾物流モニタリング・予測ツール開発

株式会社sustainacraft SBIRフェーズ3：4.3億円



自然由来プロジェクトの炭素・生物多様性クレジットの定量化に向けた技術開発及び社会実装

サグリ株式会社 SBIRフェーズ3：3.6億円

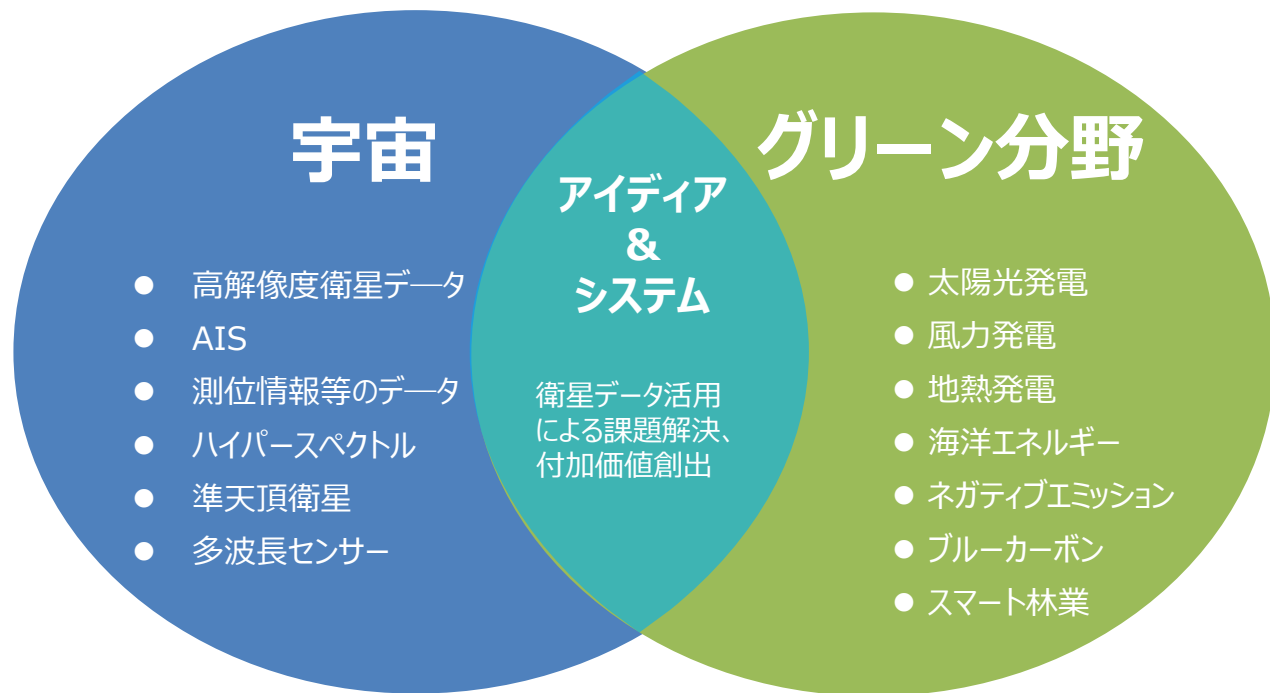


衛星リモートセンシングによる耕作放棄地検出・作物分類サービスの高度化実証

衛星データ利用ビジネス促進のための懸賞金事業

NEDO Challenge ～Satellite Data for Green Earth～

- 衛星データ等を活用することで、環境及びエネルギーに係る課題の解決を図り、より多くの革新的・独創的なアイデアを収集する目的として、懸賞金型コンテストを実施する。



➤ 応募テーマ

- ① **カーボンクレジット基盤構築**
(グリーン・ブルーカーボン等)
- ② **エネルギーマネジメント基盤構築**
(風力・太陽光等)
- ③ **気候変動・環境レジリエンス基盤構築**
(火災・水害・生物多様性等)

➤ 懸賞金額 (各テーマ)

- 1位1000万円
- 2位400万円
- 3位200万円



スケジュール

